

厚生労働大臣表彰に養護老人ホームときわ寮の玉井通子さんが選ばれました。



社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰の本年度受賞者が決まり、当組合の養護老人ホームときわ寮総括主任介護員、玉井通子さんが選ばれました。全国社会福祉大会で表彰されます。

昭和57年5月から日高川町の特別養護老人ホームときわ寮川辺園の寮母となり、平成13年4月から18年3月までは美浜町三尾の特別養護老人ホームときわ寮に勤務。現在の養護老人ホームときわ寮（和田）は18年4月から5年目で、ことし4月からは21人の介護スタッフのリーダー、総括主任介護員となった。

高齢者介護は利用者とのコミュニケーションが基本かつ最重要。介護度の重い利用者が多い特養は利用者との意思疎通が難しく、養護の方は元気な人が多い分、利用者同士のトラブルも絶えない。そんななか、玉井さんは常に「元気よく笑顔の対応」を心がけ、積極的なスキンシップと根気のよい会話で相互理解に努めている。

平成18年4月から1年半は施設内に新設された訪問介護事業所のサービス提供責任者も務め、時代とともに措置制度から利用者本位、介護保険制度と大きく変わる介護現場の最前線で働き続けてきた。今回の受賞に際しては「若い介護員や利用者の方に励まされ、元気をもらいながら、常に笑顔をかかげて仕事をしています。表彰はこれまで支えていただいた皆さんのおかげ。これからも円滑な施設運営、地域福祉の向上に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います」と話している。

（日高新報より抜粋）

白梅賞に特別養護老人ホームときわ寮川辺園の下垣まち子さんが選ばれました。

地域の社会福祉に献身的に活動、功績を残した人をたたえる和歌山県の白梅賞の受賞者が決まり、当組合の特別養護老人ホームときわ寮川辺園の介護員下垣まち子さんが選ばれ、県庁で表彰式が行われました。

下垣さんは昭和57年から28年5カ月にわたり勤務。主任介護員として利用者の健康管理と介護に努めている。常に利用者のことを考えた献身的な態度で食事や入浴、排泄にいたるまで日常生活をサポート。温厚誠実な性格から要望を聞いたり、話し相手になるなどよき理解者として利用者に親しまれ、全職員からも厚い信頼を得ている。長年の豊かな経験と知識を生かし、施設運営の面でもバックアップ。後輩の指導や職場環境の充実に力を注いでいる。受賞に際して「思ってもみなかったのが驚いています。これもひとえに支えていただいた皆さまのおかげ。お年寄りからの“ありがとう”の言葉が一番の励み。これからも利用者の方々喜んでもらえるようなケアを心がけたい」と話している。

(日高新報より抜粋)



当組合管理者(美浜町長)に受賞の報告